

## クウェート科学研究所での津波に関するセミナーに参加しました(2017/7/11-13)

テーマ：津波、ハザード評価  
 場所：クウェート科学研究所

平成 29年7月 11～13日にクウェート科学研究所（KISR）にてアラビア湾・クウェートにおける津波ハザード評価に関する共同研究の打合せとセミナーが開催されました。クウェート科学研究所と災害科学国際研究所（代表：今村文彦所長とサッパシー・アナワット准教授（災害リスク研究部門））は昨年より共同研究を開始しています。今回は共同研究成果を報告し、これからの共同研究のテーマ等について意見交換を行いました。

セミナーの前日には、クウェート・アラビア湾内における最も巨大な住宅街の建設プロジェクトを訪問しました。このプロジェクトでは、砂漠の中に住宅が木の葉のように建てられ、その住宅の前の砂漠がまるで砂浜（プライベートビーチ）のように設計されています。防波堤や水門等の建設や水環境問題等、土木工学の観点で色々意見交換を行いました。

セミナーでは、今村所長が東日本大震災の被害実態、教訓、海外への適用性等について基調講演を行いました。サッパシー准教授とラチャロット元津波工学研究分野研究員はマクラン断層とアラビア湾内の断層の地震による津波、アラビア湾内の地滑りによる津波について、アラビア湾内とクウェートにおける最新の津波ハザード評価を元に報告しました。討論では、クウェートでの津波ハザード評価の詳細及び津波防災対策について議論しました。その他、KISRの副所長等との面談の後、水理実験場や地震観測センター等も訪問しました。



セミナーの様子：今村所長の基調講演（左）、全体の様子（中央）、今村所長と KISR 副所長



地震観測センター訪問の様子



現地視察の様子

文責：今村文彦，サッパシー アナワット（災害リスク研究部門）